

# 年末年始の交通事故防止 県民総ぐるみ運動

期間

平成24年12月10<sup>(月)</sup>日から平成25年1月7<sup>(月)</sup>日までの29日間

スローガン  
ゆづやけがきえないつちたにライトオン



年間スローガン  
思いやり人も車も自転車も

## 運動の基本

## 高齢者の交通事故防止

運動の  
重点

- 1 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
- 2 飲酒運転の根絶
- 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

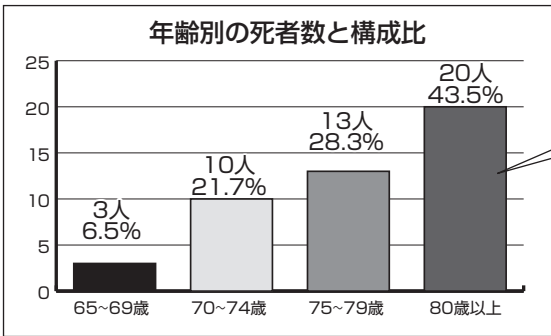
主唱 福島県・福島県交通対策協議会



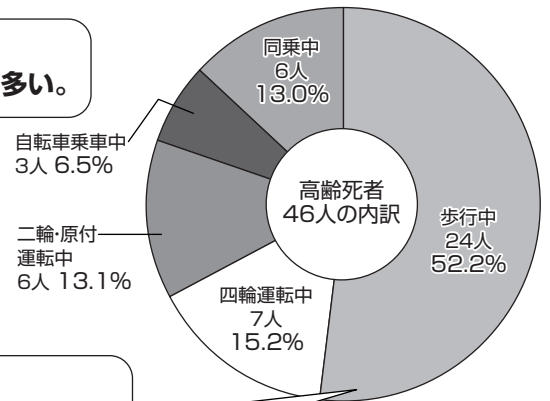
# 運動の基本 高齢者の交通事故防止

## 高年齢者の交通事故被害状況

本年10月末現在、県内の交通事故死者は79名で、うち高齢者は46人となっており、全死者の58.2%を占めています。昨年に比べ、10人も増加しています。



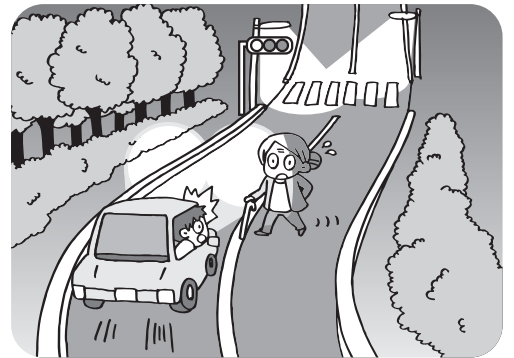
<特徴1>  
80歳以上の高齢者が多い。



<特徴2>  
歩行中の死者が高齢死者の過半数を占める。  
横断中の事故は、24人中21人。

## 高齢者の事故を防ぐには

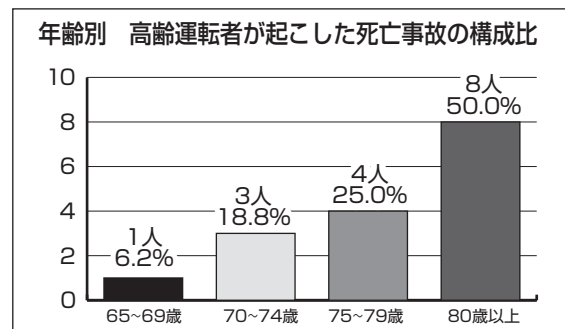
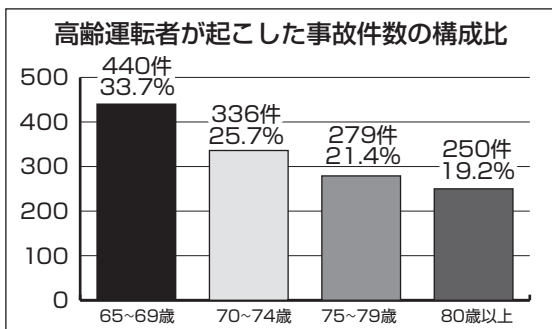
- 運転者は
  - 高齢者を見掛けたら、減速し、思いやりを持って運転しましょう。
  - 薄暮時の早めのライト点灯、ライトのこまめな上下切替えを行いましょう。
- 交通事故に遭わないよう家族で声掛けをしましょう。
- 高齢者は
  - 車両接近時の道路横断を避けましょう。
  - 夕方・夜間の不要な外出を抑制しましょう。



## 高年齢運転者の交通事故発生状況

本年10月末現在、高齢運転者が起こした交通死亡事故は、16件で死者数は20人です。

### ～高齢運転者の事故の特徴～



- 事故件数は、65歳～69歳が多い。
- 死亡事故は、80歳以上の高齢者によるものが多い。
- 違反形態は、安全運転義務違反（前方不注意、安全不確認）が多い。

## 高齢運転者の事故を防ぐには

- 身体機能の衰えを踏まえて安全運転を心掛けましょう。
- 交差点やその付近での安全運転を徹底しましょう。



# 1 夕暮れ時と夜間の交通事故防止

## /// 昨年の交通事故発生状況

この季節は、日没時間が早いため、夕方・夜間の交通事故が増加します。特に、午後4時から午後7時の時間帯は、横断歩行者被害の重大事故等が多発する傾向にあります。

昨年の12月、今年1月の交通事故死亡者10人のうち、夜間の死亡者は6人です。

### 夕暮れ時や夜間の交通事故を防ぐには

#### 歩行者は

- 外出時の明るい服装、夜光反射材の着用、懐中電灯の使用の他、履物や携行品へ夜光反射材を取付けましょう。
- 車両接近時には無理な横断はしないことを心掛けましょう。

#### 自転車利用者は

- 早めのライト点灯を習慣付け、夜光反射材を取り付けましょう。
- 自転車の点検整備を行うとともに、「福島県自転車安全利用五則」を始めとした交通ルールを守りましょう。

#### 運転者は

- PM4ライトオン運動を実践しましょう。

##### (1) 午後4時を目安とした早めのライト点灯

ライトを早めに点灯し、自分の車の存在を周囲の車両や歩行者などに知らせるとともに、午後4時から午後7時が交通事故多発時間帯であることを自覚しましょう。

##### (2) ライトのこまめな上下切替え

車のライトは、対向車や前方走行車両がないときなどは「上向き」が原則です。ライトの「上下切替え」をこまめに行い、幻惑防止を図るとともに、歩行者や自転車等を早期に発見しましょう。



### 【福島県自転車安全利用五則】

- 1 自転車は、原則車道を左側通行、歩道は例外
- 2 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 3 信号遵守と一時停止・安全確認
- 4 安全ルール・マナーを守る
  - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
  - 夜間はライトを点灯・反射材装着
  - 運転中の携帯電話・ヘッドホン使用、傘さし運転の禁止
- 5 被害軽減のためヘルメット着用に努める

早めに点灯! こまめに切り替え!



**PM4**  
ピーエムフォー  
**ライトオン運動**

平成24年11月1日~平成25年2月28日まで

## /// 冬用タイヤへの交換はお済みですか?

冬の初めは、早朝・夜間にスリップ事故等が多発します。

早朝・夜間の路面は、一時的に0°以下となり、朝露が凍結したり、霜が張り付いたりします。

特に、夜間は路面が濡れているのか凍結しているのかわかりにくい(ブラックアイスバーン) ことがあり、非常に危険です。

**冬用タイヤの交換は、雪が降ってからでは遅いのです。**



## 2 飲酒運転の根絶



### 県内の飲酒運転の状況

本年10月末現在、飲酒交通事故（物損事故を含む）は、322件（うち人身事故は、71件）発生し、死傷者数は123人に上っています。

飲酒運転の検挙者は354人で、うち逮捕者は119人もいます。

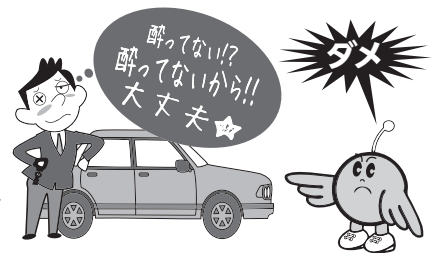
### あなたの規範意識は低下していませんか？

「誰も見ていないから」「捕まらなければ」という考えで飲酒運転をしている違反者が多くみられます。

誤った行動が、被害者及び被害者家族の悲しみ、加害者家族の悲哀（失職、家庭崩壊等）など、多くの人を不幸にしています。

### 飲酒運転を防ぐには

- 「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない」を徹底しましょう。
- 地域をあげたハンドルキーパー運動の推進をしましょう。
- 飲酒運転だけでなく、飲酒運転を助長する行為（車両提供、酒類提供、車両同乗）についても、絶対にしてはいけません。



## 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

### シートベルト非着用の3つの危険！



#### 1 車内で全身を強打する

時速60kmで壁等に激突すると、高さ14mのビルから落ちるのと同じ衝撃を受け、全身がハンドルや前席、天井等にたたきつけられます。

#### 2 車外に放出される

衝突の勢いが激しいと、窓ガラス等から車外に投げ出され、路面に体を強打したり、後続車にひかれる可能性があります。

#### 3 同乗者に被害を与える

衝突の勢いで、後部席同乗者が前の座席にぶつかり、前の席の人がシートとエアバックに挟まれ、頭に大怪我をする危険性があります。

### かわいい子にはベルトをつけよう！

本年4月に実施したチャイルドシートの着用調査では、福島県の使用率は56.5%で、全国平均に比べ2.3%下回っています。

また、シートベルトもせず車のシートにそのまま着座していた幼児は調査全体の26.5%に上りました。



### 東日本大震災等に関する対応について

被災市町村、避難者受入先の市町村及び関係機関等は、相互に連携し、仮設住宅等における訪問指導、交通安全教室の開催、広報誌・交通事故危険地点マップ・チラシの配布や掲示、広報車による広報活動等に努めましょう！



交通安全に関するホームページ

県生活交通課 <http://www.pref.fukushima.jp/koutuu/top.htm>  
県警察本部 <http://www.police.pref.fukushima.jp/>

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。